

スタートライン ～First Great～

☆一生懸命 ☆思いやり
☆自分の頭で考える

第27号

上原中学校
第1学年
令和4年12月23日(金)
(担当) 北村 祐一郎

風が冷たさを感じ、冬本番を感じられる季節となりました。暑さが厳しい9月から始まった後期ですが、4カ月が経ち、今年を終えようとしています。皆さんは後期になり、成長できたことや頑張れたことはあったでしょうか。勉強、部活、日常生活の中で、自分で考えて動くことができたでしょうか。1年生も残り、3カ月となりました。2年生に向けて、何を自分はすべきなのかをこの冬休みの中で考えながら、過ごして欲しいと思います。冬休み明け、元気な姿でまた会えるのを楽しみにしています。

★冬休み明けの予定 1月9日(月)～1月20日(金)

日	曜	予定	1	2	3	4	給食	5	6
1/9	月	成人の日							
10	火	全校集会	①	②	③	④	○	⑤	⑥
11	水		①	②	③	④	○	⑤	
12	木		①	②	③	④	○	⑤	道
13	金		①	②	③	④	○	⑤	総合
14	土								
15	日								
16	月		①	②	③	④	○	⑤	総合
17	火		①	②	③	④	○	⑤	⑥
18	水		①	②	③	④	○	⑤	
19	木		①	②	③	④	○	⑤	道
20	金		①	②	③	④	○	⑤	総合
備考									

職場体験に向けて

現在、1年生では2/1(水)～2月3日(金)に行われる職場体験に向けて学習を進めております。まず、「働く」ってなんだろう?というテーマから学習が始まり、職場体験におけるマナー学習を行ったり、実際にどの分野の事業所に行きたいか希望調査をとったりしました。一人一人が今まで行ってきた職業調べなどを踏まえ、自分なりにどんな職業を体験したいかを考えながら、事前学習を行っています。どこの職場を体験するかは冬休み明けに発表予定です。それまでに、職場体験をするうえで重要なことは何かを今一度考えておいてください。また、保護者通知を12/20(火)に配布しています。保護者の方はそちらをご確認いただきますようお願いいたします。

17日間の冬休み

今年の冬休みは、全部で17日間あります。みなさん、予定は決まっていますか?旅行に行ったり、帰省をしたり、過ごし方は人それぞれになりますが、自分の時間を大切に使うって欲しいと思います。冬休みが明けると、学年末考査まで1カ月となります。三者面談で話を聞いたところ、多くの人が学習面に課題があり、頑張りたいと決意を話していました。後期中間試験では特に自分の課題が具体的にわかってきたところだと思います。ゆっくり休みつつも、規則正しい生活習慣を崩さず、毎日勉強する時間を作り、成果を出せるようにしていきましょう。

来年の抱負は?

皆さんは、1年が始まる時に抱負を立てていますか?また、抱負を立てた人は覚えていますか?ちなみに私の今年の抱負は「貯金をする」でした。抱負を立てることにより、その目標に向かって行動できたり、1年を振り返るときに重要な情報になったり自分の生活の原動力になってくると思います。新年になったときにぜひ、抱負を立ててみてください。何かに向けて、努力をする機会を自分で設定してみよう。

キリトリ

「ひとこと」のご提出、ありがとうございます！

- * 面談のお時間をいただきありがとうございました。進路の話に、この時期に！？早いかと戸惑いましたが、改めて小学校とは違い3年間の中学校生活だと再確認しました。本人の目標、夢を尊重してよく話す時間を増やす、濃くしていくところからスタートしようと思います。
- * 面談の時間をいただきありがとうございました。先生とお話できて、本人も益々やる気が出てきているようです。
- * 三者面談では、とてもありがたいアドバイスをたくさんいただきました。帰宅後にきちんと話し合い、この先何をどう改善して頑張るべきか再確認できました。ありがとうございました。
- * 職場体験で何を感じるか、どう成長するかとても楽しみです。
- * 以前からご相談させていただいた数学の苦手意識対策について、冬休み以降に対応していただけるということでありがとうございます。心のつかえがとれたようです。家庭でも取り組んでまいります。
- * 逢坂先生、おかえりなさい。子供が戻られるのを指折り楽しみにしていました。将来のためにも育児のお話等子供たちにさせていただけると嬉しいです。
- * 先日の認知症サポーターの講習はとても興味深かったようです。家でもパンフレットを見せてくれ、内容もいろいろ習ったことを教えてくれました。地域での生活で役立つ学びの良い機会だったと思います。ありがとうございました。

〈普通救命講習の様子〉

12月21（水）に普通救命講習を行いました。いつ、だれが、心肺停止になるか分からないこと、救急車が来るまでに通報から平均7分かかること、もしかしたら明日、今日学んだ心肺蘇生を自分が施すかもしれないことを知り、人の命に関わる大切な訓練にみんな真剣に取り組みました。

